

名古屋能楽堂

# 三月定例公演



能

「定家」(観世流)  
シテ 久田三津子



狂言

「柑子」(和泉流)  
シテ 野村又三郎



撮影：杉浦賢次

ご来場の方に抽選で  
素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から  
抽選で10名様に能楽グッズを  
プレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフ  
レットに応募券が入っております  
のでご確認ください。  
(ご応募の締切は休憩終了まで)

平成27年1月7日  
チケット発売開始

平成27年3月7日(土) 午後2時開演(午後1時30分開場)

【「秀吉と能」—のふにひまなく候—】

◆午後1時45分から、開演前ショート解説があります。◆

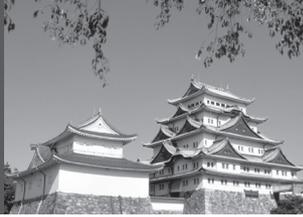
秀吉が内裏で催した前代未聞の大イベント、文禄二年の禁中能。その二日目に演じられたのが能〈定家〉である。式子内親王と藤原定家の忍ぶ恋を描いたこの能で、秀吉がシテの式子内親王を、秀吉の近習・下村徳左衛門がワキの僧をつとめた。間狂言は、これも秀吉の近習であった岩井弥三郎。笛は伊藤安中、大鼓に名手として知られた樋口石見守、小鼓に金春座の大蔵道意といったプロの囃子方。秀吉やその近習という素人とプロの囃子方がそろって舞台に立ち、演じること、それを観ることを楽しむのは、当時すでに標準的な能の愛好のスタイルであり、今日に至るまで続いている。

主催



公益社団法人 名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



◇開演前30分解説(午後四時四十五分から午後五時)  
『定家』について 久田勘鷗

狂言 柑子 (和泉流)

シテ 太郎冠者  
アド 主人  
後見 松田高義  
藤波 徹

能 定家 (観世流)

前シテ 都の女  
後シテ 式子内親王の霊  
ワキ 旅の僧  
ワキツレ 飯富雅介  
ワキツレ 相元正樹  
アイ 所の者  
野口隆行

伊藤裕貴 武田大志  
吉沢 旭 古橋正邦  
八神孝充 久田勘鷗  
松山幸親 祖父江修一  
後見 梅田嘉宏  
梅田邦久

笛 大野 誠  
小鼓 後藤孝一郎  
大鼓 河村総一郎

【イヤホンガイド】  
日本語／米田真理(朝日大学経営学部准教授)  
英語／川崎瑠子(能楽イヤホンガイド)

(午後四時三十分頃終了予定)

都台より出演者等が変更となる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

◇狂言解説「柑子」(こうじ)

前夜の宴会に主人のお供をした召使い(太郎冠者、その時主人から預かった土産「三つ成りの柑子」を持ってくるように云われますが、すでに内緒で食べ尽くしてしまっています。困った召使いはあれこれと言いつくはははは、果ては平家物語に登場する俊寛僧都の鳥流し話まで持ち出して・・・)

柑子とは蜜柑の一種のこと。短編な作品でありながら秀作で、太郎冠者の話術・演技が見どころです。  
(井上菊次郎)

◇能解説「定家」(ていか)

(あらすじ) 初冬の季節、北国方より都へ上つてきた僧(ワキ)が干本(二京の北部)のあたりへ来てみると、木々も冬枯れ、枝に残りの紅葉の色までも、殊更に心打たれる風情であった。時雨が降りはじめた。僧は時雨をはらそつと、とある庵に立ち寄り、どこからともなく美しい女(シテ)があらわれ、この亭は「時雨の亭」と名づけられた藤原の定家の立て置かれたもので、時雨の季節には、ここで歌を詠まれたりしたものだ、昔を偲んで話をした。また荒れのみまさる草むらに今降る雨も昔と変らぬ淋しさそのものだと言った。やがてこの女は僧を式子内親王の墓へ案内をする。この墓石にはつた葛が生い茂って形も定家ではない。この葛を定家葛と称する。式子内親王が加茂の斎院を下りた後、定家は内親王に対して忍び忍びの御契りが深かったが、その後内親王が空しくなられると、定家の執心が葛となつて墓に這いまとい、互いの苦しみが絶えることがないと、この美しい女は語り、最後に、我こそ式子内親王と名乗って姿を消してしまった。(中入)夜半、弔いをする僧の前に式子内親王の霊(後シテ)が現われる。僧の弔いによつて定家葛はほろほると解けはなたれ、内親王は塚から出、報恩の舞を舞うが、いつしか再び這いまとい葛の中に式子内親王の姿は失せてしまった。

「定家」という能。美しい舞台に創り上げられているその内面の心象の變(な)に悲愁が秘められている。その悲愁は死後の世界に於いて無限の連続感を持っている。その精神性を演者は深く心に秘めてこの能を創り、鑑賞者もこの能の内面に充分に立ち入っていただきたい。素晴らしいがむずかしい能。

■定家の能は金春禅竹の作で、大口長綱の本三番目物。禅竹にはほかに「芭蕉」などの名作がある。■式子内親王が加茂の斎院を下りた時、定家は八歳であった。故に式子と定家の恋は史実としては考えにくい。■この能が名古屋能楽堂定例公演で上演される早春三月、式子内親王の美しい御歌がある。

山ふかみ春ともしらぬ松の戸に  
たえだえかかると雪の玉水

(泉嘉夫)

チケット料金(税込) \*前売券発売日 平成27年1月7日

	指定 Reserved	自由 Non reserved	
		一般 Adult	学生 Student
前売 Advance sale	4,100円	3,100円	2,100円

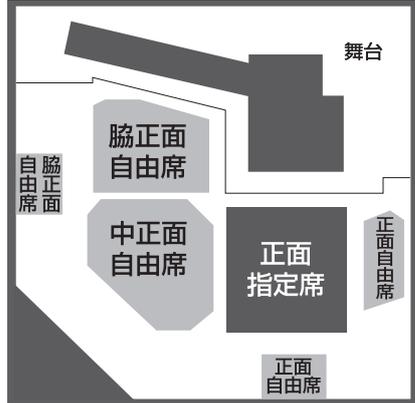
\*自由席のみ当日500円増 \*学生券は25歳以下を対象とします。  
\*事業団友の会 会員は1割引  
(名古屋能楽堂・名古屋市文化振興事業団チケットガイド・事業団施設窓口の前売のみ)  
\*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はご遠慮下さい。  
\*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office  
名古屋能楽堂 / TEL.052-231-0088  
名古屋市文化振興事業団チケットガイド / TEL.052-249-9387  
\*文化小劇場等、事業団が管理する文化施設窓口でもお買い求めいただけます。  
中京テレビ事業 / TEL.052-957-3333  
栄プレチケ92 / TEL.052-953-0777  
チケットぴあ / TEL.0570-02-9999 (Pコード 441-332)

\*お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。  
\*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引きます。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount.(at Nagoya Noh Theater only)  
●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語) Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset(Japanese/English)  
●併設の「御食事処 城」(184席/052-222-6699)がご利用いただけます。

お問い合わせ / 名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088 FAX.052-231-8756 http://www.bunka758.or.jp



\*地下鉄・バス等公共交通機関をご利用ください。  
ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい  
「友の会」会員募集中!  
公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385